救命講習について

１１月２０日(金）に救命救急講習会を行いました。もしもの時、いざという時に慌てず落ち着いて、命を救う行動ができるよう、毎年職員対象に実施しています。今年度も水尾分署の隊員の方に講師として来ていただき、胸骨圧迫と人工呼吸による心肺蘇生法・AEDを使用した心肺蘇生法・窒息時の対応を学びました。講義のあと人形を使って実践となりましたが、人形とはいえ参加した職員も講師の方々も真剣そのもの。参加者全員が倒れた方を発見してから救急車が到着するまでの応急手当の実技を行いました。はじめはぎこちなく恐々…な様子でしたが、繰り返し行うことで自信をもって行うことができるようになりました。病気や事故で心停止になった人を救うには、救急車が到着するまでの間に速やかに応急手当を行うことが大切です。実際にその状況におかれた時に冷静に躊躇なく行動にうつすため、今後も水尾分署の方々のお力を借りながら講習を実施していきたいと思います。

看護師　泉二穂

新職員紹介

① 足立　喜通

② グループホーム　おひさま

③ 韓国料理の食べ歩き・調理

④ ホームレス支援に行きます！

⑤ 家庭的な温かいホームになるよう、共に利用者さんと過ごし、支援に携わっていきたいと思います。

①名前

②部署

③趣味

④自分が一番活躍したこと

⑤意気込みを一言！

①中嶋　葵

②生活介護　赤チューリップ

③旅行へ行くこと♪

④イベントの司会を務めさせていただいた事

⑤笑顔いっぱい頑張ります(#^.^#)

行事のおしらせ

2月2日（火）	節分イベント
2月19日（金）	半日通所
2月27日（土）	土曜日通所
3月19日（金）	半日通所
3月26日（金）	茶話会（就労継続支援B型）
3月31日（水）	半日通所

あいらんど

発行：
地域生活総合支援センターあい
2021年1月29日
発行責任者：
所長　辻野　滋之

理念：ともに生きる　心を育み
ともに歩む　社会の実現

新年のごあいさつ　迎春

新年あけましておめでとうございます。今年こそは延期となってしまった東京オリンピック・パラリンピックが開催される年になると思っていましたが、年末年始にかけての感染者の急増に伴い、２度目の緊急事態宣言が発令されてしまい、雲行きが怪しくなっています。

昨年の４月以降は、皆様方には行事の予定変更や中止といったことが続き、大変ご迷惑をおかけしたことと思います。皆さんが楽しみにされていた外出等もすべて中止となり、最大の目玉行事でもあった「あいまつり」も中止とさせていただきました。しかし、そのような状況下においても、あいの職員は工夫を凝らし少しでも利用者の皆さんを楽しませようと、感染防止を徹底したうえで趣向を凝らしたメニューを提供させていただいています。日頃の様子は、ホームページでもご覧いただけるようになっていますので、ご確認ください。

また、12月にはご家族の皆様に「利用満足度アンケート」を送付させていただきました。お忙しいところ、回答をいただきありがとうございました。貴重なご意見については、職員一同で共有し、今後の参考にもさせていただきます。今年もあいの運営にご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

所長　辻野滋之

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス一色の1年だったわけですが、先月から再び国内感染者が急増し、本文を執筆中の今現在においても減少の兆しは見られません。新しい生活様式、もう皆さまは定着されておられるでしょうか。現在、生活介護では手指消毒、換気、3密を避けること等の感染症対策に日々取り組んでおりますが、今後さらなる取り組みの強化を図っていきたいと考えております。一例を挙げますと、生活介護の4つの活動室すべての空気清浄機を新型機に交換すること、空気の乾燥を防ぐため、空気清浄機に加えて加湿器の導入を検討しています。また、室内においても他者との距離感がとれるよう、活動室内の物品配置、レイアウトの変更も視野に入れ、具体的な対策として取り組んでいきたいと考えています。道のりはまだまだ続くものと思われますが、ご利用者、ご家族の皆さまにご協力をいただきながら、皆さまと共にこの局面を乗り越えていきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

主査　冨賀博文

あけましておめでとうございます。年末年始はゆっくり過ごされましたでしょうか？　私は、おせち料理を食べたり、年末に出来なかった大掃除を年明けに取り組み、あっという間の休みでした。さて私なりの２０２１年の目標を書いてみようと思います。支援センターあいは2011年にできて、今年で１０年になります。私が大学を卒業して、法人に入職したのも2011年です。このお互いの１０年を振り返ると、「いろんな人とのつながり」がキーワードだと感じています。今後も「人とのつながり」を大切にして、ご利用者一人ひとりの充実した生活を目指した支援に取り組んでいきたいと思います。

最後は、個人的な目標です。去年、月に1回は、釣りに行くということを目標にしていましたが、去年は全然行けませんでした。沖縄に行って、釣りをすることも叶わず、釣りのYouTubeを見るだけで一年が終わっていきました。今年こそは、ウィズコロナで釣りにいける日常が戻れば、釣りに行きたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

主査　徳井聡史

あいパークを振り返って

11月14日（土）にあいパークが開催されました。「お天気にも恵まれ、今年もたくさんの方にお越しいただきました！！」と言いたいところですが、今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、従来の「あいまつり」のように、一般の方も参加できるお祭りという形での開催は断念しました。一時は中止という考えも頭をよぎりましたが、こんな時期だからこそ楽しいイベントはやっていこう！という思いで、感染症対策を徹底した構想を練りました。テーマパークを意識して建物内では、巷で話題の？！鬼滅の刃やミッキーマウス等のキャラクターが写真でお出迎えしました。これによって、アトラクション中の待ち時間も皆さんの心を和ませられるようにし、また待ち時間にこれらのキャラクターを使ったスタンプラリーを行うことで、テーマパークさながらの雰囲気を出せたのではと感じております。アトラクションを体験された皆さんは、ゲームの満喫と景品ゲットによって、どなたも得意げな表情をされており、テーマパーク構想は大成功！と自画自賛しております。長くなりすぎましたが、あいパーク誕生秘話はこのあたりにして、当日の楽しい様子を写真にてお届けします。

あいパーク委員　辻弘樹

入り口

コインおとし

的当て

映像

ボウリング

記念撮影

ショートステイあい

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウィルス感染症の拡大により「いつもどおり」ができない年になりました。緊急事態宣言下においては、利用を控えていただく依頼をして、ご迷惑をお掛けすることとなり、申し訳ありませんでした。

季節も冬になり、感染拡大は深刻さを増していますが、ショートステイあいでは、行政からだされる「感染対策マニュアル」等を利用して感染対策を徹底しながら、開所しております。

個人の行動様式も大きく制限を受けている中で利用者の方達もストレスを感じていることだと思います。また、外出の制限等の自粛期間が長引くことで保護者の方達の負担も大きくなり「自粛疲れ」を感じていることと思います。今後も大阪府等からの要請により開所の内容に変更が生じることがありますが、保護者の方達の休息の役割を担う１場面としてショートステイあいを利用していただければと思います。

来年は「いつもどおり」ができる１年にするために、ウィズコロナ時代を乗り切りましょう！！

ショートステイあい　藤井大将

※新しくパンフレット作製しました。
（短期入所の事業をご存じない方にも広く知って頂き、保護者の方達の休息として利用して頂ければと思い作成しました。）

こども発達支援センター風

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大を受けながらも、必要な感染症対策を講じて、療育をおこなってきました。今年も引き続き、感染症対策を徹底することで、利用される皆様に安心して通所していただけるように努めていきたいと思います。

さて、風では毎年、発達が気になる就学前のお子さんがいるご家族を対象に、ペアレント・トレーニングの研修をおこなっています。ペアレント・トレーニングの目的はご家族がお子さんとのかかわり方のコツを学ぶことで、お子さんとご家族の「困り感」を減らすことです。ご家族にお子さんの行動の捉え方、上手な褒め方、困った行動への対処方法などを5回に分けて学びながら、5～6人のグループで子育ての喜びや悩みを共有します。また、学んだ内容を実践する力を身につけるための宿題もあり、これらを通して、お子さんとの上手なかかわりかたを少しずつ身につけていただきます。風では療育を通して、スタッフがお子さんに寄り添ってかかわるだけではなく、ご家族が楽しく前向きに子育てができるようになるための良きサポーターになれるように努めていきたいと思います。

こども発達支援センター風　福嶌翼